

地理的環境・周辺の遺跡

十八銭亀遺跡は、八女丘陵の北西端部に立地しています。標高は約18mです。北側には広川が流れており、久留米市城島町下田で筑後川に合流しています。

十八銭亀遺跡の周辺の古墳時代の遺跡としては、荒木今宮脇遺跡、田佛遺跡（筑後市北牟田）、瑞王寺古墳、十連寺古墳があります。荒木今宮脇遺跡では、5世紀中ごろの竪穴住居が見つっています。田佛遺跡でも5世紀前半～中ごろの竪穴住居が発見されています。瑞王寺古墳は5世紀中ごろから後半の古墳で、鏡や朝鮮半島加耶地域との関連のある馬具、滑石製白玉、鋤先などが副葬されていました。十連寺古墳は現存する古墳ですが、遺物が見つかっておらず、古墳の築造時期はよく分かっていません。

古墳時代の筑後では、水沼君（みぬまのきみ）や筑紫君（つくしのきみ）といった豪族が勢力をもっていました。それぞれの豪族の動向は、古墳のまとまりから推測することができます。久留米市大善寺町にある 史跡 御塚・権現塚古墳は水沼君のお墓だとされ、広川右岸にそのまとまりをみることができます。筑紫君の本拠地は八女とされ、八女丘陵上に石人山古墳や岩戸山古墳といった前方後円墳を造りました。



▲周辺の地形と古墳時代の遺跡分布

▼周辺の主な古墳一覧

古墳名	所在地	墳形	墳長（径）	築造時期
瑞王寺古墳	筑後市西牟田	円墳	26mカ	5世紀中ごろ
十連寺古墳	久留米市三潞町	不明	30m	不明
御塚古墳	久留米市大善寺町	帆立貝式前方後円墳	72m	5世紀末ごろ
権現塚古墳	久留米市大善寺町	円墳	56m	6世紀中ごろ
石人山古墳	八女郡広川町一條	前方後円墳	110m	5世紀前半
岩戸山古墳	八女市吉田	前方後円墳	138m	6世紀前半

調査の成果

今回の調査によって、十八銭亀遺跡が5世紀中ごろ～後半に推定される古墳時代の集落であることが分かりました。また、5世紀代の集落と古墳が分布する地域で、久留米市内でも最大規模の住居がある集落域の一部を確認することができました。

十八銭亀遺跡と周辺の古墳の時期を整理してみると、東へ2kmほどのところにある瑞王寺古墳が同時期の古墳と考えられます。なお、御塚古墳は十八銭亀遺跡が終焉を迎えた後に造られた古墳と考えられます。

十八銭亀遺跡の立地と時期から、水沼君と筑紫君が勢力をもっていた筑後地域の動向を考えるうえで重要な遺跡だと考えられます。

じゅう はち ぜに が め い せ き

十八銭亀遺跡

—第1次調査—

現地説明会

令和5年7月29日（土）



遺構配置図

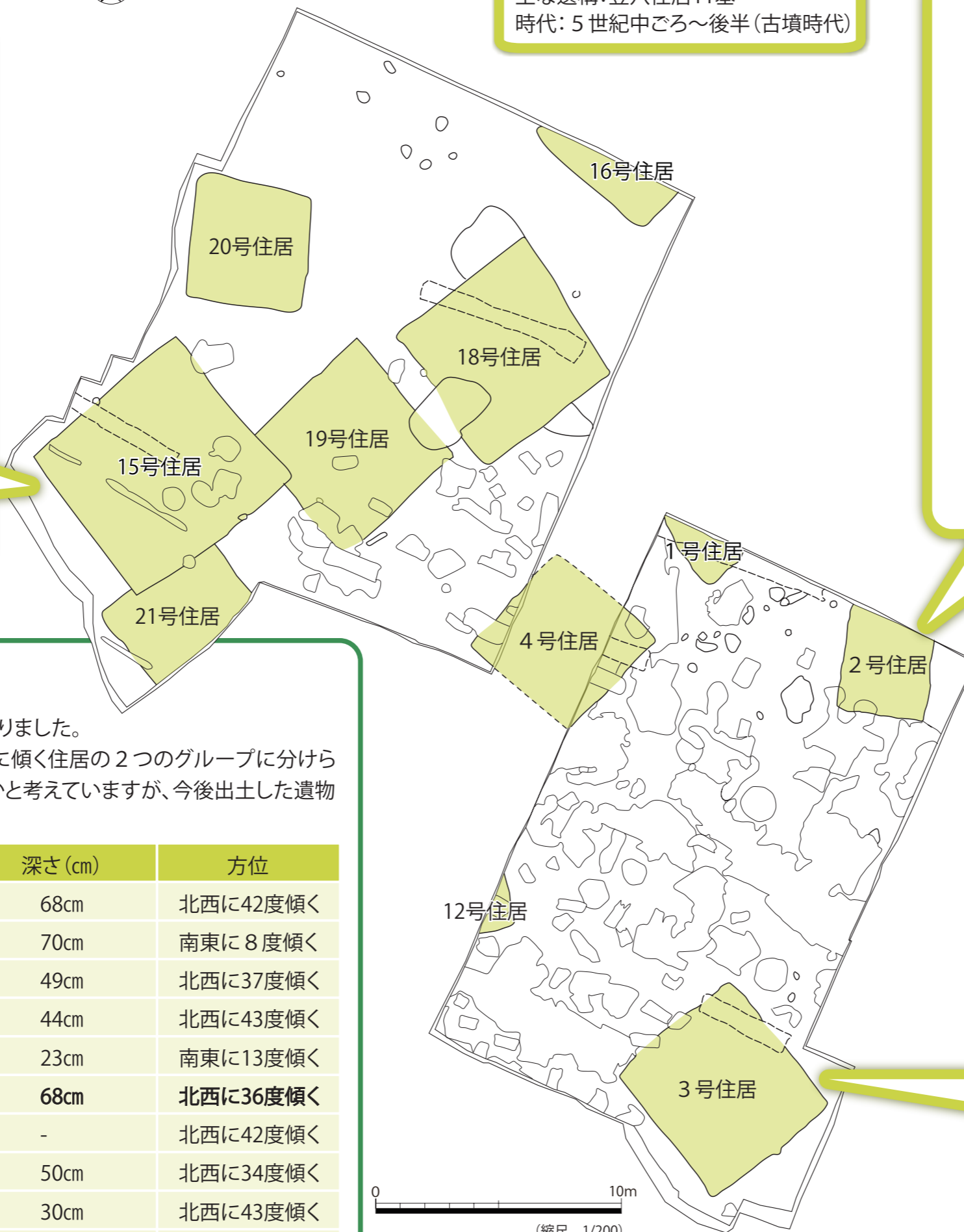


調査面積:810㎡
 主な遺構:竪穴住居11基
 時代:5世紀中ごろ～後半(古墳時代)



▲炭化材の出土状況

15号住居は、7.5m×7.5mの規模のもつ住居です。この規模は、久留米市内でも最大級の大きさです。床面から、焼けた土や炭化材が見つかりました。炭化材は住居を構成する木材が燃えたものと考えられます。住居に住まなくなった後に、燃やした可能性があります。



▲カマドと遺物の出土状況

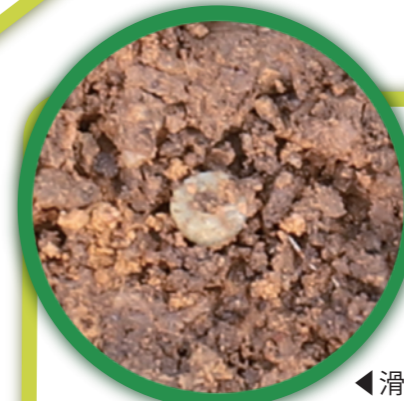
2号住居では、カマドの周辺に坏(つき)や甑(こしき)がありました。坏は食器で、甑は蒸し器です。甑ではお米などを蒸していました。この住居に住まなくなった時に、坏や甑をそのまま置いていったようです。

住居の規模

今回の調査では、竪穴住居が11基見つかりました。

11基ある住居は、北西に傾く住居と南東に傾く住居の2つのグループに分けられます。その差は時期によるものではないかと考えていますが、今後出土した遺物を元に検討していきます。

	規模(m)	深さ(cm)	方位
1号住居	3.3以上×2.0以上	68cm	北西に42度傾く
2号住居	4.2×3.5以上	70cm	南東に8度傾く
3号住居	6.2×6.1	49cm	北西に37度傾く
4号住居	5.2×5.0	44cm	北西に43度傾く
12号住居	2.0以上×1.5以上	23cm	南東に13度傾く
15号住居	7.5×7.5	68cm	北西に36度傾く
16号住居	5.9×2.2以上	-	北西に42度傾く
18号住居	6.5×6.3	50cm	北西に34度傾く
19号住居	6.2×6.1	30cm	北西に43度傾く
20号住居	4.6×4.6	40cm	南東に8度傾く
21号住居	5.3×3.6以上	-	北西に36度傾く



◀滑石製白玉の出土状況

3号住居の床は全面が硬くなっており、住居をつくる時に叩き締めたと推測されます。その床面から、滑石製白玉(かっせきせいうすだま)という玉が15点ほど出土しました。大きさは4mm程度で非常に小さいです。もしこの住居で滑石製白玉を作っていた場合、石材や白玉を作る過程で出る破片が見つかると考えられますが、破片は出土していません。また、滑石製白玉は、古墳への副葬のほかに、沖ノ島祭祀遺跡(宗像市)のような祭祀遺跡でも出土していることから、お祭りでの使用が想定されています。したがって、この住居の中で行われたお祭りに使われたのではないかと考えています。